

授業科目名	グローバルリーダー入門	担当教員	小畑 克典
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年第1クォーター		
講義内容	<p>グローバルリーダーとは自国と相手国の両者の歴史や文化、社会を理解し、双方にとって互恵的な意思決定をおこなうことができる人材と本講義では定義する。語学力も重要であるが、異文化への理解がさらに上位の素養といえる。また、多文化的価値観を理解する受容力をもつことが必須である。多文化主義的感性をもち、そのうえで複雑な課題を主体的に考え、実践できることを目指していく。そのために、ビジネスの現場で直面したさまざまな実例を教材とし、リーダーシップとともに、フォロワーシップの重要性について受講者と一緒に考えていく。次世代リーダーに必須の知識であり、異文化を知ること、自文化の当たり前を取りはらうことが、自らを客観視することにつながるものである。また、心の知能指数「EQ」のトレーニングもおこなう。なお、授業のために指定した資料を事前に読む宿題形式を前提とし、講義中は主に双方向型で活発な討議をおこなう。</p>		
到達目標	<p>① 地域社会における多様な課題について考え、行動するための対話力が身につく。(虫の目視点) ② 分野を超え物事を観察する俯瞰力を得ることができる。(鳥の目視点) ③ 異文化や異なる価値観を理解する態度や力が身につく。(魚の目視点) リーダーシップ発揮の経験学習プロセスを通して、自身の成長に繋げる習慣がつく。(全ての視点)</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション。 国際派ってなんだろう？グローバルってなんだろう？ 第2回 多様性の中で生きるということ、異文化に飛び込むということ 第3回 グローバルとローカルの狭間で 第4回 文化の違いとステレオタイプ 第5回 リーダーシップってなんだろう？（リーダーシップの6類型） 第6回 ビジョンを共有する 第7回 カルチャーを育てる 第8回 知恵は現場に落ちているのか？ 第9回 フィードバックを行う、悪い報せを伝える 第10回 チームの中で差別と向き合う 第11回 権力とハラスメント 第12回 まとめ。グローバルリーダーシップとは何か、あらためて考えてみる</p>		
事前・事後学習	<p>授業のテーマに沿って、課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。 授業でロールプレイを行う際には事前に講師からスキットを配布するので、目を通しておくこと。</p>		
テキスト	なし		

参考文献	都度指示する。
成績評価の基準	受講態度（出席、授業中の議論への貢献） 30% 課題の提出状況・内容 30% 期末試験 40%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	定員超過の場合、抽選により履修者を選定する。